

耐震診断結果の概要書

申請者	会社名等												
	代表者名												
診断者	事務所名								TEL				
	担当者					() 級建築士 第	号	FAX					
建物概要	(1)建物名称												
	(2)所在地								(3)用途				
	(4)構造・規模	造 地上 階・地下 階・PH 階										高さ	m
		架構形式 X方向:						Y方向:					
	(5)建設年												
	(6)面積	建築面積			m ²	・ 延べ面積			m ²	・ 診断対象			m ²
	(7)階高	1階			m	・ 基準階			m				
	(8)桁行×梁間 全長			m ×	m	(9)構造的特徴							
	(桁行×梁間 スパン)	(		m ×	m)								
	(10)地盤	表層 支持層 GL - m											
長期杭支持力 kN/本 長期地耐力 kN/m ²													
(11)基礎	杭基礎 直接基礎												
現地調査結果 及び 材料強度	(1)コンクリート	設計基準強度			F _c =	~	N/mm ²						
		標準偏差			σ =	~	N/mm ²						
		各階の圧縮強度(X _{mean} -1/2σ)			σ _B =	~	N/mm ²						
		診断採用強度			σ _{BD} =	~	N/mm ²						
	(2)鉄筋	主筋(種別、径)			診断時降伏点強度			σ _y =	N/mm ²				
帯筋(種別、径)			@	診断時降伏点強度			σ _y =	N/mm ²					
(3)鉄骨	種別			診断時降伏点強度			σ _y =	N/mm ²					
(4)中性化深さ	平均			mm			・ 最大			mm			
耐震判定指標	(1)I _{so}						(2)C _{TU} ・S _D						
I _s 指標値 C _{TU} ・S _D 値	経年指標 T =						診断次数						
	階	X方向						Y方向					
		E ₀	S _D	F	I _s	C _{TU} ・S _D	判定	E ₀	S _D	F	I _s	C _{TU} ・S _D	判定
(注) 診断値は正加力時、負加力時の小なる値 ・S造ではC _{TU} ・S _D 欄はq欄とする。													
電算ソフト													
主な準拠基準 ・指針													
考察	(1)診断で判明した耐震性能上の問題点 (2)その他特記すべき事項												
備考													

耐震診断結果の概要書

申請者	会社名等													
	代表者名													
診断者	事務所名							TEL						
	担当者					() 級建築士 第	号	FAX						
建物概要	(1)建物名称													
	(2)所在地							(3)用途						
	(4)構造・規模	造 地上 階・地下 階・PH 階										高さ	m	
		架構形式 X方向:						Y方向:						
	(5)建設年													
	(6)面積	建築面積 m ²				延べ面積 m ²				診断対象 m ²				
	(7)階高	1階 m				基準階 m								
	(8)桁行×梁間 全長	m × m		(9)構造的特徴										
	(桁行×梁間 スパン)	(m × m)												
	(10)地盤	表層 支持層 GL-										m		
長期杭支持力 kN/本										長期地耐力 kN/m ²				
(11)基礎	杭基礎 直接基礎													
現地調査結果 及び 材料強度	(1)コンクリート	設計基準強度 Fc =				~				N/mm ²				
		標準偏差 σ =				~				N/mm ²				
		各階の圧縮強度(X _{mean} -1/2σ)				σ _B =				~ N/mm ²				
		診断採用強度 σ _{BD} =				~				N/mm ²				
	(2)鉄筋	主筋(種別、径)				診断時降伏点強度 σ _y =				N/mm ²				
帯筋(種別、径) @				診断時降伏点強度 σ _y =				N/mm ²						
(3)鉄骨	種別				診断時降伏点強度 σ _y =				N/mm ²					
(4)中性化深さ	平均 mm				最大 mm									
構造耐震指標	(1)Gls					診断次数		官庁施設の総合耐震診断・改修基準						
Gls指標値 Qu/α・Qun値	劣化係数 U = , じん性能補正係数 αd = , モデル化係数 αm = , 重要度係数 I =													
	階	X方向						Y方向						
		Qu/P	α	Ds	Gls	Qu/α・Qun	判定	Qu/P	α	Ds	Gls	Qu/α・Qun	判定	
(注) 診断値は正加力時、負加力時の小なる値														
電算ソフト														
主な準拠基準・指針														
考察	(1)診断で判明した耐震性能上の問題点													
	(2)その他特記すべき事項													
備考														

概-1

20240801

総合評価	分類		対策	選択	注意事項	
	地盤	よい・普通				
		悪い				
		非常に悪い (埋立地、盛土、 軟弱地盤)	表層の地盤改良を行っている			
			杭基礎である			
			特別な対策を行っていない			
	その他					
	地形	平坦・普通				
		がけ地・急斜面	コンクリート擁壁			
			石積み			
			特別な対策を行っていない			
			その他			
	基礎	鉄筋コンクリート	健全			
			ひび割れが生じている			
		無筋コンクリート	健全			
			軽微なひび割れが生じている			
			ひび割れが生じている			
			足固めあり			
			足固めなし			
			その他 (ブロック基礎等)			
上部構造評点のうち 最小の値		評点	判定	選択		
		1.5以上	倒壊しない			
	1.0以上～1.5未満	一応倒壊しない				
	0.7以上～1.0未満	倒壊する可能性がある				
	0.7未満	倒壊の可能性が高い				
その他の 注意事項						
考察						

耐震改修計画の概要書

申請者	会社名等																								
	代表者名																								
診断者	事務所名												TEL												
	担当者												() 級建築士 第 号		FAX										
建物概要	(1)建物名称																								
	(2)所在地												(3)用途												
	(4)構造・規模		造 地上 階・地下 階・PH 階										高さ		m										
			架構形式 X方向:										Y方向:												
	(5)建設年																								
	(6)面積		建築面積 m ²				延べ面積 m ²				診断対象 m ²														
	(7)階高		1階 m				基準階 m																		
	(8)桁行×梁間 全長		m × m		(9)構造的特徴																				
	(8)桁行×梁間 スパン		(m × m)																						
	(10)地盤		表層 支持層 GL - m																						
			長期杭支持力 kN/本										長期地耐力 kN/m ²												
(11)基礎		杭基礎										直接基礎													
現地調査結果 及び 材料強度	(1)コンクリート		設計基準強度				F _c =				~				N/mm ²										
			標準偏差				σ =				~				N/mm ²										
			各階の圧縮強度(X _{mean} -1/2σ)				σ _B =				~				N/mm ²										
			診断採用強度				σ _{BD} =				~				N/mm ²										
	(2)鉄筋		主筋(種別、径)				診断時降伏点強度				σ _y =				N/mm ²										
帯筋(種別、径) @				診断時降伏点強度				σ _y =				N/mm ²													
(3)鉄骨		種別				診断時降伏点強度				σ _y =				N/mm ²											
(4)中性化深さ		平均 mm				最大 mm																			
診断で判明した耐震性能上の問題点																									
補強計画	(1)補強方針		(3)補強壁・鉄骨ブレース等の枚数、スリット箇所数										階		X方向				Y方向						
	(2)補強工法 X方向 : Y方向 :																								
耐震判定指標		(1)Iso												(2)C _{TU} ・S _D											
Is指標値 C _{TU} ・S _D 値	経年指標 T =												診断次数												
	階	X方向										Y方向													
		補強前					補強後					補強前					補強後								
		S _D	F	Is	C _{TU} ・S _D	S _D	F	Is	C _{TU} ・S _D	判定	S _D	F	Is	C _{TU} ・S _D	S _D	F	Is	C _{TU} ・S _D	判定						
(注) 診断値は正加力時、負加力時の小なる値 ・S造ではC _{TU} ・S _D 欄はq欄とする。																									
電算ソフト																									
主な準拠基準・指針																									
備考																									

耐震改修計画の概要書

申請者	会社名等															
	代表者名															
診断者	事務所名								TEL							
	担当者		() 級建築士 第 号						FAX							
建物概要	(1)建物名称															
	(2)所在地								(3)用途							
	(4)構造・規模		造 地上 階・地下 階・PH 階						高さ		m					
			架構形式 X方向:						Y方向:							
	(5)建設年															
	(6)面積		建築面積 m ²				延べ面積 m ²				診断対象 m ²					
	(7)階高		1階 m				基準階 m									
	(8)桁行×梁間 全長		m × m		(9)構造的特徴											
	(8)桁行×梁間 スパン		(m × m)													
	(10)地盤		表層 支持層 GL - m						長期杭支持力 kN/本 長期地耐力 kN/m ²							
	(11)基礎		杭基礎 直接基礎													
現地調査結果 及び 材料強度	(1)コンクリート		設計基準強度 $F_c =$ ~ N/mm ²													
			標準偏差 $\sigma =$ ~ N/mm ²													
			各階の圧縮強度($X_{mean}-1/2\sigma$) $\sigma_B =$ ~ N/mm ²													
			診断採用強度 $\sigma_{BD} =$ ~ N/mm ²													
	(2)鉄筋		主筋(種別、径) 診断時降伏点強度 $\sigma_y =$ N/mm ²													
		帯筋(種別、径) @ 診断時降伏点強度 $\sigma_y =$ N/mm ²														
(3)鉄骨		種別 診断時降伏点強度 $\sigma_y =$ N/mm ²														
(4)中性化深さ		平均 mm				最大 mm										
診断で判明した耐震性能上の問題点																
補強計画	(1)補強方針								(3)補強壁・鉄骨ブレース等の枚数、スリット箇所数							
									階		X方向		Y方向			
	(2)補強工法															
	X方向:															
Y方向:																
構造耐震指標		(1)Gls						診断次数		官庁施設の総合耐震診断・改修基準						
Gls指標値 Qu/α・Qun値	劣化係数 U = , じん性能補正係数 α d = 下表 , モデル化係数 α m = , 重要度係数 I =															
		階	X方向							Y方向						
			Qu/P	α d	α	Ds	Gls	Qu/α・Qun	判定	Qu/P	α d	α	Ds	Gls	Qu/α・Qun	判定
	補強前															
	補強後															
(注) 診断値は正加力時、負加力時の小なる値																
電算ソフト																
主な準拠基準・指針																
備考																

耐震改修計画の概要書

申請者	会社名等									
	代表者名									
診断者	事務所名						TEL			
	担当者		() 級建築士 第 号				FAX			
建物概要	(1)建物名称									
	(2)所在地						(3)用途			
	(4)構造・規模		造 地上 階・地下 階・PH 階					高さ	m	
			架構形式		X方向:		Y方向:			
	(5)建設年									
	(6)面積		建築面積		m ²		延べ面積		m ²	
	(7)階高		1階		m		基準階		m	
	(8)桁行×梁間 全長 (柱ピッチ)		m × m (m × m)		(9)構造的特徴					
	(10)地盤		表層		支持層		GL-		m	
			長期杭支持力		kN/本		長期地耐力		kN/m ²	
	(11)基礎		杭基礎		直接基礎					
現地調査結果 及び 材料強度	(1)コンクリート		設計基準強度		F _c =		~		N/mm ²	
			標準偏差		σ =		~		N/mm ²	
			各階の圧縮強度(X _{mean} -1/2σ)		σ _B =		~		N/mm ²	
			診断採用強度		σ _{BD} =		~		N/mm ²	
	(2)鉄筋		主筋(種別、径)		診断時降伏点強度		σ _y =		N/mm ²	
			帯筋(種別、径) @		診断時降伏点強度		σ _y =		N/mm ²	
	(3)基礎の健全度									
(4)使用木材										
(5)接合部										
(6)腐朽・蟻害										
診断で判明した 耐震性能上の 問題点										
補強計画	(1)補強方針				(3)補強壁・筋交い等の枚数					
					階	補強項目	X方向	Y方向	備考	
					3	構造用合板				
						たすき掛け筋交い				
	(2)補強工法 X方向 :				2	構造用合板				
						たすき掛け筋交い				
Y方向 :				1	構造用合板					
					たすき掛け筋交い					
上部構造評点	判定値					構造評点 = 保有する耐力(edQu) / 必要耐力(Qr) ≥ 1.0				
補強後の 診断結果	方向	階	壁の耐力 Qu (kN)	配置低減 eKfl	劣化低減 dK	保有耐力 edQu (kN)	必要耐力 Qr (kN)	評点 lw	判定	
	X	3								
		2								
		1								
	Y	3								
		2								
		1								
電算ソフト						診断法				
主な準拠基準 ・指針										
備考										